

広島市立広島市民病院
超音波診断装置
技術仕様書

広島市立広島市民病院

1. 調達物件の背景及び目的

心臓手術における経食道心エコー装置は、血行動態のモニタリングだけではなく、合併症予防や術式決定に大きな役割を果たしている。現在所有の装置は導入から 9 年以上経過し、使用頻度が高いため画像精度や解析能力の劣化が著しい。特に大人用 2D/3D 兼用経食道トランスデューサの劣化によるノイズが心臓モニタリング中に頻繁に出続けている。そのため不鮮明な超音波画像で心臓の血行動態及び弁を観察しなければならず、心臓のモニタリングや診断等の日常臨床に影響をきたしている。

このため本調達により新機器への更新を行い、2D 及び 3D 画像のリアルタイム性と画質を両立向上することで、術中に刻々と変化する心機能をより正確に評価することを可能とし、心臓手術の精度向上、人工心肺装着から離脱までの時間短縮に貢献する。また、様々な調整を自動で最適化する機能により検査時間を短縮し、精度の高い診断と効率的な検査の両立を図る。

2. 調達物件名及び構成内容

超音波診断装置 ----- 1 式

構成内訳

- ・ 超音波診断装置 ----- 1 台
- ・ 2D/3D 兼用セクタトランスデューサ ----- 1 本
- ・ 2D/3D 兼用経食道トランスデューサ ----- 1 本
- ・ 小児経食道トランスデューサ ----- 1 本
- ・ 新生児経食道トランスデューサ ----- 1 本
- ・ 術中リニアトランスデューサ ----- 1 本
- ・ 内蔵 CD/DVD ドライブ ----- 1 台
- ・ 内蔵白黒プリンタ ----- 1 台
- ・ 画像保存/解析用ノートパソコン ----- 1 台

上記のほか、搬入・据付・配線・調整等を含む。

3. 技術的要求要件

- (1) 本調達物件に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、別紙に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は、全て必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は、発注者の必要とする最低限の要求要件を示しており、本調達物件の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- (4) 本調達物件の性能等が技術的要求を満たしているか否かの判定は、広島市立広島市民病院医療機器選定委員会及び広島市立病院機構本部事務局で実施する入札契約審査会において、本調達物件に係わる技術仕様書に対する提案書やその他入札説明書で求める提出資料の内容を審査し

て行う。

- (5) 本調達物件の構成においては、全て新品であること。引上げ品等使用している場合は落札決定の対象から除外する。

4. その他

(1) 仕様に関する留意事項

- ① 本調達物件のうち医療用具に関しては、入札時点で「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に定められている製造の承認を得ている機器であること。
- ② 本調達物件は、入札時点で製品化されていることを原則とする。ただし、入札時に製品化されていない機器で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。

(2) 提案に関する注意事項

- ① 提案に際しては、提案システムが本仕様書の要求要件をどの程度満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに具体的、かつ、分かりやすく記載すること。
- したがって、本仕様書の技術的要件に対して、単に「できます。」「提案します。」といった文章のみで、その根拠となるデータ等を示さず具体性のない提案書の場合、評価できないため不合格とする。
- ② 提出資料等に関する照会先を明記すること。
- ③ 提出された内容について、ヒアリングを行う場合があり、ヒアリングについて打診を受けた場合は、必ず対応すること。